

平成 25 年度事業報告

平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

I. 事業の状況

1. 定期講演会の実施

定期講演会については、本年度は以下のように実施した。

- ・会場 全国 8 ヶ所
- ・開催回数 70 回
- ・来場者総計 2,445 名

- ・収入 1,407 千円
- ・支出 8,903 千円

定期講演会 8 会場の詳細は次のとおり。

①東京会場（原則として毎月第 2 及び

第 4 土曜日午前 10 時より大手町ビル 513 号室）

- ・実施回数 20 回
- ・来場者 1,276 名

（以下敬称を略します）

- 4 月 13 日 西來武治
仏教と迷信
- 4 月 27 日 一島正真
ナーガ族と仏教
- 5 月 11 日 本多静芳
浄土真宗のいのり
～信心と仏性～
- 5 月 25 日 島蘭進
「無常」と「うき世」
ー日本仏教と死生観
- 6 月 8 日 石上善應
悲しみを乗り越えた釈尊の伝記
- 6 月 22 日 金光寿郎
私が会った念仏者
- 7 月 13 日 菅原伸郎
葬式はだれのために
- 7 月 27 日 杉谷義純
比叡山と法華経

- 9 月 14 日 本多弘之
信心の智慧
 - 9 月 28 日 池田魯參
禅師たちのさと
 - 10 月 12 日 蓑輪顕量
中世東大寺戒壇院における仏教復興
ー円照・凝然・志玉をめぐって
 - 11 月 9 日 菅沼晃
理想の国づくりを目指して
ーアショーカ王と聖徳太子
 - 11 月 30 日 ケネス田中
仏教と心理学の協力
 - 12 月 14 日 西田正法
仏教的先祖供養のあり方
 - 1 月 11 日 奈良康明
仏祖にかえる～仏教の原点を求めて
 - 1 月 25 日 木村清孝
道元禅と瑩山禅
 - 2 月 8 日 西原祐治
物語りを生きる
 - 2 月 22 日 中野東禅
にもかかわらず仏法に立つ
ー価値多元化時代の墓・医療・紛争・
死刑等に仏教は答えられるか
 - 3 月 8 日 福田亮成
弘法大師のいう“今でしょう”とその内容
 - 3 月 22 日 田上太秀
ここに幸あり
- #### ②大阪会場（原則として毎月第 4 金曜日午後 3 時より 堂島アバンザ 14 階）
- ・実施回数 9 回
 - ・来場者 406 名
- 4 月 26 日 小林隆彰
三世の教え
 - 5 月 24 日 上田閑照
自然と人生
 - 6 月 28 日 幹栄盛
道を求める
 - 7 月 26 日 西村恵信
この自分とは何か

- 9月27日 池見澄隆
冥界と顕界－「みえない」世界から「みられる」という想像力
- 11月22日 田代俊孝
歎異のこころ
－「歎異抄」再考
- 1月24日 西山厚
十一面観音を巡礼する
- 2月28日 岡田真美子
龍珠と如意宝珠
- 3月28日 真城義麿
何の用事で人間に生まれたのか

③名古屋会場（原則として毎月第3水曜日午後1時30分よりCRD丸の内ビル9階）

- ・実施回数 10回
 - ・来場者 305名
- 4月17日 亀井 鑛
四海みな兄弟
- 5月15日 田辺和子
タイでとなえられる法鏡の教えについて
- 6月19日 松平實胤
本来の自分に戻る
- 7月17日 林淳
大乘非仏説と日本仏教
- 9月18日 上沼雅龍
あの世ってどの世？ －彼岸に思う
- 10月16日 赤池憲昭
「人生儀礼」再考
－日本の現状をめぐって
- 11月20日 柴田悟
悪人正機について
- 1月15日 立川武蔵
「般若心経」の真言について
- 2月19日 青山俊董
学道の心得－たった一度の生命の今をどう生きるか
- 3月19日 田代俊孝
慈悲のかわりめ
－「歎異抄」再考

④福岡会場（原則として毎月第4金曜日午後3時より福岡センタービル9階）

- ・実施回数 9回
 - ・来場者 231名
- 4月17日 藤谷知道
浄土へ、そして、浄土から
- 5月15日 村上大朗
無縁の大悲－無縁社会といわれることから
- 6月19日 藤本至誠
「ナモアミダブツ」とは、なんですか
- 7月26日 菊城淳真
釈尊から聖徳太子へ
- 9月27日 神原玄應
お観音さまに導かれて
- 11月22日 平兮宗賢
白隠禅師坐禅和讃に学ぶ
- 1月24日 大江憲成
人生における歓喜の在りか
- 2月28日 田畑正久
仏教が教える物語
- 3月28日 武内英真
いのち賜りて

⑤防府会場（原則として毎月第2水曜日午後1時30分より防府市地域協働支援センター2階）

- ・実施回数 8回
 - ・来場者 59名
- 4月10日 橋本隆道
山頭火の心
- 5月8日 児玉識・島田教明
加藤辨三郎翁における仏教－科学と経営の背骨（バックボーン）
- 6月12日 岩田啓靖
山口県指定史蹟大寧寺境内
歴史墓地について
- 7月10日 林寛孝
重源上人の智慧に学ぶ
- 9月11日 中村棟俊
因縁因果について考える
－修証義一章を踏まえて

10月9日 香川孝志
まことの仏教徒一成仏の道を歩む者

11月13日 小林正純
般若心経

3月12日 森江俊孝
「おもてなし」の心を学ぶ
—道元禅師の教えを中心として

⑥宇部会場（原則として隔月第2金曜日午後1時30分
より宇部市文化会館ほか）

・実施回数 5回
・来場者 73名

5月10日 波佐間正己
華嚴経と親鸞聖人

7月12日 長岡裕之
親の心、仏の心

9月13日 木村延崇
仏教かるた

11月8日 有福孝岳
生と死の問題

3月14日 松原徹心
お彼岸のこころ
—彼岸会は日本で生まれました

⑦札幌会場（原則として隔月第3金曜日午後3時より
札幌パークフロントビル4階）

・実施回数 5回
・来場者 36名

5月17日 巖城孝憲
定聚の数に入ること喜ばず

7月19日 金石晃陽
法灯明・自灯明

9月20日 高畑俊孝
仏に近づく道・布施について

11月15日 林寺正俊
漢語大蔵経について

3月20日 石飛道子
蟻塚の喩え

⑧仙台会場（原則として3カ月毎第2金曜日午後2時
より仙台橋本ビル9階）

・実施回数 4回
・来場者 59名

4月12日 華園聰磨
いま・ここ、このまま—鈴木大拙に学ぶ

7月12日 丸田善明
いのち皆、生きらるべし—大震災のあとさき

11月11日 乗元惠三
迷いと求道と—文学者の死

1月10日 高橋哲秋
亡き人は今—お葬式・法事を考える

2. 各種行事の実施

各種行事については、本年度は下記の行事を実施した。

①鈴木大拙館・西田幾多郎哲学館と能登の寺巡りの旅
平成25年11月27日～29日 参加者23名

②在家仏教坐禅の会

平成25年10月7日～8日
曹洞宗大本山總持寺。参加者22名。

3. 出版物の刊行

出版物の刊行については、本年度は以下のように
実施した。

・収入 11,372千円
・支出 27,831千円

①月刊誌『在家佛教』

毎月1回発行、A5判100頁

▼平成25年5月号

荒崎良徳	卷頭言 一茶さんの句から
太田信隆	行雲流水 名を呼ぶ
荒木稔恵	行雲流水 世界史との出会い
石上善應	懺悔
ケネス田中	「溺れる船乗り」という七変相図 —求道者の解脱—
神 仁	今・ここを照らす仏教(4) 震災を越えていま宗教者に 求められていること(上)
西岡秀爾	書評「エンディングへの備え」 「終活力」即「生活力」
野呂 昶	いのちのほほえみ「海のシンフォニー」 イサキ

菅原伸郎 南無善財 白隠と観音
奈良康明 法句経に学ぶ (11) 天上天下唯我独尊
富田富士也 人に子どもに“光”あれ (29)
会えば思い出せるあの日の“約束”
神田 忠 俱律究 (54) 海外旅行のプランニング
内藤喜八郎 今月の表紙 恒河の流れ

▼平成 25 年 6 月号

中村昌道 巻頭言「阿留辺幾夜宇和」ということ
中尾良信 行雲流水 姓の違いと供養
菊城淳真 生死を超える
神 仁 今・ここを照らす仏教 (5) 震災を経て
いま宗教者に求められていること (下)
黒川文字子 四季の仏教行事 早春 涅槃会
中村 元 アーカイブス 生きる指標 (前編)
野呂 昶 いのちのほほえみ
「海のシンフォニー」 ヒトデ
菅原伸郎 南無善財 憲法十七条
石上善應 心月輪 一百四十五箇條問答 (16)
奈良康明 法句経に学ぶ (12)
心に刺さった矢を抜け
富田富士也 人に子どもに“光”あれ (30)
息子の死を夫と泣きたい妻
神田 忠 俱律究 (55) ネット選挙運動解禁
内藤喜八郎 今月の表紙 命をささえるもの

▼平成 25 年 7 月号

竹村牧男 巻頭言 井上円了の教育理念を継承して
清水守拙 行雲流水 燈台もと暗し?
杉谷義純 中国のお釈迦さま 天台大師の足跡
石飛道子 如来の十号
金岡秀郎 河鍋暁斎の地獄絵とその救い
中村元 アーカイブス 生きる指標 (後編)
野呂 昶 いのちのほほえみ「海のシンフォニー」
タコ
石上善應 心月輪 一百四十五箇條問答 (17)
菅原伸郎 南無善財 ルター再読
奈良康明 法句経に学ぶ (13) 釈尊憂愁
富田富士也 人に子どもに“光”あれ (31)
恐“父”症を快復できた若者
神田忠 俱律究 (56) もう一度、
英語にチャレンジ
内藤喜八郎 今月の表紙 ブータンの自然

▼平成 25 年 8 月号

大谷哲夫 巻頭言 演ずると行ずる
西光義秀 行雲流水 わがはからいを超えるお念仏

岡田真美子 文殊と龍女
赤池憲昭 読み替えられる死
山田美和 写仏
増谷文雄 アーカイブス 悪人正機説の成立
菅原伸郎 南無善財 苦行と体罰
野呂 昶 いのちのほほえみ
「海のシンフォニー」 シラウオ
石上善應 心月輪 一百四十五箇條問答 (18)
奈良康明 法句経に学ぶ (14) 死者の行方
富田富士也 人に子どもに“光”あれ (32)
はみ出すことで夫と向きあえた妻
神田忠 俱律究 (57) 2013 年上期ヒット商品番付
内藤喜八郎 今月の表紙 高地のくらし

▼平成 25 年 9 月号

平井宥慶 巻頭言 ご遺体
佐藤達全 行雲流水 生き方の基本
としての仏陀の教え
直林不退 行雲流水 物語の奥にあるもの
一布教として節談の眼目
高橋哲秋 一人称の処世術～唯我独尊と因縁処生～
池見澄隆 <仏法知>への道一死と生のあわいから
宮澤やすみ 「癒し」のかたち
乗元恵三 夕日をおがむ
石上善應 心月輪 一百四十五箇條問答 (19)
菅原伸郎 南無善財 焼け跡から
野呂 昶 いのちのほほえみ「海のシンフォニー」
ミノカサゴ
奈良康明 法句経に学ぶ (15) 死者に向き合う
富田富士也 人に子どもに“光”あれ (33)
老後の計画にはなかった息子の留年
神田忠 俱律究 (58) 第 1 回“ネット選挙”
のまとめ
内藤喜八郎 今月の表紙 大樹のように

▼平成 25 年 10 月号

観山正見 巻頭言 宇宙に特別な場所はない
庵谷行亨 行雲流水 静岡大空襲
山田法胤 仏陀の人間観
大江憲成 躍動する信心
駒澤 勝・ 仏教と葉っぱのフレディ
金光寿郎 興福寺の仏頭
大橋一章 心月輪 一百四十五箇條問答 (20)
石上善應 南無善財「生きる」賛
菅原伸郎 いのちのほほえみ「海のシンフォニー」
野呂 昶 ゴンズイ
奈良康明 法句経に学ぶ (16) 「今」を生きる

富田富士也 人に子どもに“光”あれ(34)
愛着回復を願って「だだっこ」
になった若者
神田忠 俱律究(59) 秋の連休はLCCで海外へ
内藤喜八郎 今月の表紙 流れゆく雲

▼平成25年11月号

藤田徹文 巻頭言 往生の道
末廣照純 行雲流水 口中の斧
此経啓助 行雲流水 毎日の生活から
歴史が生まれる
石上善應 悲しみを乗り越えた釈尊の伝記
本多静芳 浄土真宗のいのり～信心と仏性～
玉置充子 タイの華人の盂蘭盆行事
泉経武 社会貢献する宗教を調査探究
金子大榮 アーカイブス 知恵
野呂昶 いのちのほほえみ「海のシンフォニー」
アミガイ
菅原伸郎 南無善財 アーレント
奈良康明 法句経に学ぶ(17) 死者に向き合う
富田富士也 人に子どもに“光”あれ(35)
親の心を慕う子どもたち
神田忠 俱律究(60) 2020年「東京五輪」決定
内藤喜八郎 今月の表紙 河の流れ

▼平成25年12月号

片山一良 巻頭言 無常に生きる
愛川純子 行雲流水 父親としてのお釈迦さま
信楽峻麿 仏を信じたら人間変わるか
田上太秀 八正道は人の道である
乗元恵三 日米開戦当日の「事実」
野呂昶 いのちのほほえみ「海のシンフォニー」
サンゴ
石上善應 心月輪 一百四十五箇條問答(21)
菅原伸郎 南無善財 十戒と五戒
奈良康明 法句経に学ぶ(18) 分かち合う
富田富士也 人に子どもに“光”あれ(36)
妻と不安を共にする単身赴任の父親
神田忠 俱律究(61) 携帯情報端末は
「ウェアラブル」へ
内藤喜八郎 今月の表紙 無限の眼差し

▼平成26年1月号

篠原鋭一 巻頭言 不殺生戒を伝える「今」
伊藤益 行雲流水 邪な念仏
吉田一彦 行雲流水 アジアにおける神仏の融合
と日本
菅原伸郎 葬式はだれのために

藤谷知道 浄土へ、そして、浄土から [前編]
堀内伸二 伝えゆく「慈しみのこころ」
濱田英作 慎ましき選手たちの祭典、再び
野呂昶 いのちのほほえみ「海のシンフォニー」
ルリエビ
石上善應 心月輪 一百四十五箇條問答(22)
奈良康明 法句経に学ぶ(19)
みんなが納得する布施
森和也 神儒仏の江戸時代 近世仏教を見る視点
富田富士也 人に子どもに“光”あれ(37)
「いい家族」の幻想に気づいた母親
神田忠 俱律究(62) 2013年新語・
流行語大賞候補
内藤喜八郎 今月の表紙 無限のいのち

▼平成26年2月号

菅沼晃 巻頭言 仏教の安全保障
真木興空 行雲流水 引力の有無
仮設住宅の女性からの宿題
藤谷知道 浄土へ、そして、浄土から [後編]
華園聰磨 いま・ここ、このまま
ー鈴木大拙に学ぶー
嵩海史 「新しい恵信尼像」との出会い
野呂昶 いのちのほほえみ「海のシンフォニー」
オキノスジエビ
菅原伸郎 ターナー展
石上善應 心月輪 一百四十五箇條問答(23)
森和也 神儒仏の江戸時代(2)
仏教による統治と統治される仏教(一)
奈良康明 法句経に学ぶ(20) 祈りの生活
富田富士也 人に子どもに“光”あれ(38)
“内地”で自助の心と向きあった若者
神田忠 俱律究(63) 手元の端末で映画鑑賞
内藤喜八郎 今月の表紙 大地のいぶき

▼平成26年3月号

形山睡峰 巻頭言 況や悪人をや
田中雅博 行雲流水 世界一の日本医療、
唯一の欠陥
源 淳子 行雲流水 お墓はだれと入りたい?
武内英真 我が過ちはそれに勝れり
ー親鸞聖人を慕いてー
竹村牧男 能と禅一世阿弥を中心に
黒川文子 四季の仏教行事 清涼寺の三千仏名会
野呂昶 いのちのほほえみ「海のシンフォニー」
アカハタ
石上善應 心月輪 一百四十五箇條問答(24)
菅原伸郎 南無善財 からごころ

奈良康明 法句經に学ぶ (21) 誓願と回向
森和也 神儒仏の江戸時代 (3)
仏教による統治と統治される仏教 (二)
富田富士也 人に子どもに“光”あれ (39)
気持ちの分かる感性を磨く父親
神田忠 俱律究 (64) 「終活」で死の準備を
山崎真 今月の表紙 チベットに吹く風

株式会社 明治書院
転載先：ジャンル・作者別 現代文精選問題総覧
転載文：「在家佛教」昭和 33 年 5 月号・7 月号掲載
著者：鈴木大拙
日本文化に対する仏教の貢献
—特に禅の寄与するもの

▼平成 26 年 4 月号

青木新門 巻頭言 仏教は四苦を解決する道
藤原聖子 行雲流水 パブリック・スペースと宗教
川西蘭 行雲流水 ミラーニューロンと渴望
池田魯参 禅師たちのさとり
田辺和子 タイでとなえられる法鏡の教えについて
西村玲 書評 仏教の実践を支える「正法」理念
菅原伸郎 南無善財 破滅への門
石上善應 心月輪 一百四十五箇條問答 (25)
野呂昶 いのちのほほえみ「海のシンフォニー」
マリンスノー
奈良康明 法句經に学ぶ (22) 慈悲の形
森和也 神儒仏の江戸時代 (4)
近代仏教と職分論
富田富士也 人に子どもに“光”あれ (40)
救いを信じて一歩踏み出した若者
神田忠 俱律究 (65) 仏教を実践しよう&学ぼう
山崎真 今月の表紙 クメールの微笑み

②協会創 60 周年記念書籍「講演集・悲喜をよろこぶ」 「対談集・掌を合わせて生きる」

4. その他目的を達するために必要な事業

① 国公立図書館並びに大学図書館及び刑務所

「在家佛教」誌を毎月寄贈

②ホームページ改善及び「在家佛教誌」のデジタル化

入会申し込み・定期購読の申し込みが可能になる

③ 在家佛教誌から他誌への転載許可

株式会社 熊平製作所

転載先：「抜すいのつゞり」73 号

転載文：「在家佛教」平成 25 年 4 月号掲載

著者：友松浩志

生きる意味を伝える